

申請者	呼吸器内科医長	三浦 由記子
1	膠原病を除く慢性繊維化性間質性肺炎のCT画像診断における人工知能の有用性に関する多施設共同研究	
研究の概要	慢性線維化性間質性肺炎における胸部CT画像データと、多職種での議論による統合的なアプローチによって得られた最終診断を人工知能に学習させ、機械学習し構築された人工知能を、間質性肺炎に精通した放射線医師の診断、肺を専門としない放射線科医師の診断、間質性肺炎を専門としていない呼吸器内科医師の診断とで比較する。それにより人工知能のCT画像診断における有用性を明らかにする	
判定	条件付承認	本審査は条件付きで承認された

z

委員会審議	平成29年7月20日
-------	------------

申請者	5病棟看護師	田口 直子
2	結核患者の入院時の思いを知る	
研究の概要	結核患者の入院時の思いを明らかにする 対象及び方法は、結核と診断され、入院した患者 5～10名。 受け答えが可能で30分程度の面接が可能な患者。 研究協力者への半構造化面接インタビューの時間は30分程度。 実施場所は病室で実施期間はデータ収集期間：平成29年8月～12月	
判定	条件付承認	本審査は条件付で承認された

申請者	地域医療連携室 看護師	宮本 路代
3	退院調整看護師への依頼内容を明らかにする。	
研究の概要	<p>1)目的 退院調整看護師への依頼内容を明らかにする</p> <p>2)対象及び方法 対象:医療従事者 研究方法: (1)研究デザイン:実態調査研究 (2)調査期間:平成29年8月～9月(1ヶ月間) (3)データ収集方法: ①患者基礎情報:性別・年齢・入院日・疾患名 ②依頼者情報:配属場所・依頼者の役割・依頼方法・依頼日・依頼内容 ③「退院調整状況調べ」用紙に記録し、1患者1シートとする。 依頼内容は記述式で時系列に記録する。 (4)データ分析方法: 「退院調整状況調べ」用紙のデータを集計、カテゴリー化し分析する。</p> <p>3)実施場所及び実施期間 茨城東病院 地域連携室 調査期間 平成29年8月～9月(1ヶ月間)</p>	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

申請者	教育担当看護師長	庄司 妙子
4	新人看護師の看護技術学習ニーズを知る	
研究の概要	<p>1) 目的: 新人看護職員への看護技術研修に対する学習ニーズを知る</p> <p>2) 用語の定義 学習ニーズ: 新人看護師に必要であると感じている知識・技術・態度</p> <p>3) 対象及び方法</p> <p>(1) 対象</p> <p>① 平成28年度当院に新採用され新人看護技術研修を受講した2年目看護師10名 ② 指導担当者(平成29年度プリセプター12名・アソシエート12名・副看護師長15名・看護師長13名)</p> <p>(2) 方法</p> <p>① 質問紙によるアンケート調査 ② 説明文書とアンケート調査用紙を研究者が各看護師長に口頭と紙面で説明後、看護師長から指導担当者・2年目看護師に説明し配布、協力を依頼する。 ③ アンケート回収箱の設置を第1・第2更衣棟の出入り口にある机の上に設置し、24時間自由に投函できるようにする。</p> <p>(3) 分析方法: エクセル(2013)により集計し統計学的分析を行う。</p> <p>4) 実施場所及び実施期間 看護部 実施期間 アンケート調査実施期間 平成29年8月～9月</p>	
判定	承認	本審査は全員一致で承認された

申請者	6病棟看護師	白土 舞
5	在宅酸素療法を受ける呼吸器疾患患者の1日の動脈血酸素飽和度の変動を明らかにする	
研究の概要	<p>1)目的:在宅酸素療法を受ける呼吸器疾患患者の1日の動脈血酸素飽和度の変動を明らかにする</p> <p>2)対象及び方法</p> <p>(1)対象:呼吸器疾患患者の在宅酸素が必要な患者(退院が決定している患者)(意思疎通困難患者を除く)</p> <p>(2)データ収集方法:</p> <p>①対象患者に看護研究メンバーが研究の主旨・方法を説明し同意を得る。同意書を2部用意し、同意が得られた場合には同意書にサインを頂く。同意書は一部を患者へ渡し、一部を看護研究のファイルに保管する。</p> <p>②同意を得た患者に、看護研究メンバーが「看護研究にご協力していただける患者様へ」を用い説明する。</p> <p>③看護研究メンバーが同意を得た患者のナースステーション内の患者ネームプレートに赤い印を付ける。</p> <p>④同意を得られた患者へパルスオキシメーターを装着し入院中と外泊または退院後の自宅での1日をモニタリングする。</p> <p>ア. モニタリング中は対象患者へチェックシートを渡し、活動内容・酸素量・息苦しさの程度(修正Borgスケールを使用)を記載してもらう。</p> <p>イ. 担当看護師がパルスオキシメーターの装着とチェックシート記入の確認を行う。</p> <p>ウ. 同意書・チェックシートは看護研究のファイルに保管する。</p> <p>⑤パルスオキシメーターは帝人株式会社のPULSOX-Me300を使用する。24時間動脈血酸素飽和度を測定できる機器は国内に7種類あり、その形態にはばらつきがある。選定したメーカーは、当院で使用しているパルスオキシメーターに類似しており、患者が取り扱いやすいものと考えられるため今回選択した。</p> <p>(3)データ分析方法:</p> <p>①帝人在宅医療株式会社にデータの解析を依頼する。</p> <p>②1日の動脈血酸素飽和度のデータとチェックシートを時間ごとに照らし合わせ、どのような日常生活動作で動脈血酸素飽和度の変動が起きているかを分析する。</p> <p>③動脈血酸素飽和度の変動を分析した結果を患者に伝える。</p> <p>3)実施場所及び実施期間</p> <p>実施場所 NHO茨城東病院 6病棟</p> <p>実施期間 平成29年6月～平成30年3月(倫理審査委員会の承認を得てから実施)</p>	
判定	条件付承認	本審査は条件付で承認された